

# 口蹄疫 とは

## 1. 原因（病原体）

口蹄疫ウイルス(*Picornaviridae Aphthovirus*)

## 2. 感受性動物

牛，水牛，めん羊，山羊，豚，しか，いのしし

## 3. 症状

突然40～41の発熱，元氣消失に陥ると同時に多量の流涎<sup>りゅうえん</sup>（よだれ）がみられ，口，蹄，乳頭等に水泡を形成し，食欲不振<sup>ほごう</sup>，跛行（足をひきずる）を呈する。

## 4. 発生

### （1）国内

1908年（明治41年） 東京，神奈川，兵庫，新潟 522頭

2000年（平成12年）

3月，4月 宮崎県 3戸 35頭

5月 北海道 1戸705頭

### （2）外国

東欧，アジア，アフリカ，中南米 他

## 5. 診断法

（1）血清学的検査により抗体の確認を行う。

（2）水泡材料からのウイルス分離を行う。

## 6. 予防法

不活化ワクチンが用いられているが，現在は発症牛の淘汰による清浄化の推進が中心となりつつある。

我が国では厳重な検疫を実施（発生国からの畜産物等の輸入禁止措置等）している。

## 7. 治療法

（1）なし。

（2）発生した場合は，家畜伝染病予防法に基づき，まん延防止のため家畜の所有者によると殺の対象とされている。